

平成23年度 浪速高等学校 自己評価

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則に基づき自己点検・評価を実施しています。この自己点検・評価は学校が教育活動などの学校運営の状況について自ら評価し、その結果に基づき、学校運営の改善を図る取り組みです。ここに、本校の教育方針、現状や今後の取組むべき課題を「学校自己評価表」としてまとめました。

学校目標	神社神道の精神である「浄明正直」を校訓とし、生徒の才能と適正を開発し、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指す。
------	--

評価基準(達成度)

A=よく当てはまる(70%以上)

C=あまり当てはまらない(50~30%)

B=当てはまる(70~50%)

D=全く当てはまらない(30%未満)

分類	評価の観点	評価項目	設 問	評価(%)				改善点
				A	B	C	D	
学校運営	私学の独自性	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒、保護者によく浸透している。	56	43	1	0	学院神社拝詞・浪速生活の綱領の実践を提案していく。
		愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	39	51	10	0	
	教育課程	学習指導要領の対応	教育課程は学習指導要領に沿っている。	71	27	1	0	新指導要領への対応を具体化する。教育計画については結果のチェックを実施する。
		教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科・科目別に立てている。	75	23	1	0	
	開かれた学校	ホームページの活用状況	教育活動についてホームページや通信等を利用し、情報公開をしている。	86	14	0	0	浪速祭への地域住民の参加や地域の催しにクラブが積極的に参加をさらに推進する。奉仕委員会が清掃活動などを企画・実行する。
		財務関係	財務諸表等を公開している。	84	14	1	0	
		授業公開状況	保護者への授業を公開している	56	35	8	1	
		地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	19	60	19	1	
	教員研修 資質向上	校内研修	効果的な校内研修を立案し、実施している。	35	56	9	0	積極的に外部研修を勧めているが、参加者が偏っているようである。幅広く研修に参加するようにする。
		教員の資質向上	教員に全国の先進校を訪問させたり、研修会に参加させて資質向上に努めている。	55	40	5	0	
	危機管理	役割分担について	事故、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	49	43	6	1	危機管理マニュアルの徹底周知。教職員・生徒に、危機管理意識を日常的に意識する取り組み。
		講習、訓練について	AEDの講習、防災訓練が十分に行われている。	58	39	3	0	
教育内容	生徒指導	学校生活	生徒は学校生活を楽しんでいる。	49	43	8	0	校則の遵守については、教員が共通の認識と統一した指導法の確立を目指す。
		校則の遵守	生徒は校則を守り、服装、頭髪など身だしなみをきちんとしている。	21	69	10	0	
		組織的対応	生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。	55	42	4	0	
	進路指導	進路意識の向上	将来の生き方や進路選択について考える指導をしている。	36	51	9	4	各学年・各級の生徒に応じたきめの細かい進路指導を目指す。進路指導部主催の進路意識向上のLHRを増やす。
		進路相談	教育相談や進路相談等、学校の相談活動は充実している。	39	52	9	0	
	授業	授業の質を高める	教科担当は、分かり易い授業を心がけ、授業の工夫、改善を心がけている。	58	38	4	0	授業の質を高めるため、研究授業の実施を検討する。習熟度別授業は十分活用できていないようだ。学力に応じたきめの細かい教授法・教材採択を実施するようにする。
		きめ細やかな指導	宿題・提出物の管理ができています。	56	43	1	0	
			習熟度別授業が、生徒個人の理解度向上に役立っている。	31	65	4	0	
	人権教育	人権研修会	人権尊重の意識を高める教育を行っている。	45	48	6	0	今後も研修会を行ってゆく。
	情報教育	情報モラルの指導	情報の発信に伴う責任など情報モラル面の教育に十分取り組んでいる。	42	47	12	0	今後も情報トラブル等の研修会を行ってゆく。
	その他	カウンセリング体制	生徒、保護者、教職員にカウンセラーの支援体制がある。	52	39	9	0	教職員自身が活用しやすいように検討する。
		部活動	部活動は活発である。	82	17	1	0	ふくろうスタジアム・新武道館の活用によりより一層の充実を検討する。